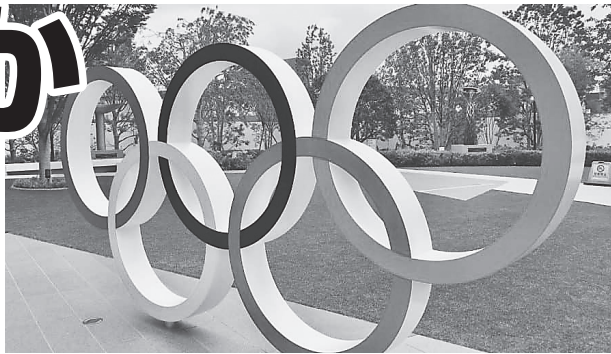


感染拡大でも、医療崩壊しても

# 五輪やるのか



「コロナ感染が拡大し、緊急事態宣言が出されていてもやるのか」。政府が「安心・安全」を繰り返し、開催を強行しようとしている東京五輪ですが、中止以外ありません。

政府は中止決断せよ

## フェアな大会 前提が崩壊

新型コロナの感染拡大で世界の選手間に格差が生まれ、フェアな大会になる前提は失われています。

過酷な感染が続くインド。5月上旬、タイで五輪予選を兼ねたカヌーの大会がありましたが、インドは同国のコロナ入国制限国に当たるため、選手は入国も大会出場もできず、五輪の可能性が消滅しました。

今月上旬、東京で行われた水泳・飛び込みの五輪最終予選。オーストリアは「現況を踏まえれば、公平で安全な五輪の予選は可

能ではない」と全選手の出場を辞退しました。

### ワクチン遅れ開催条件失う

日本のワクチン接種回数は世界130位（22日現在）。接種が遅れ、開催国としての条件を失っています。外国メディアは「狂気に近い」（ロサンゼルス・タイムズ）、「科学に耳を傾け、危険な茶番をやめる時だ」（ニューヨーク・タイムズ）など強い懸念を表明しています。

五輪とコロナ対策は両立しません。中止を決断できるのは日本政府だけです。

「中止・延期」が多数

国民の多数は五輪の「中止・延期」です。「毎日」調査(22日)は、「中止すべき」が40%で最も多く、前回比11ポイント増。「再延期」は23%（前回19%）で合わせて6割を超えました。「朝日」、ANNは「中止」「延期」の合計が8割超です。

## 「宣言下でも可能」

IOC副会長に抗議

小池書記局長

IOCのジョン・コーツ副会長が「緊急事態宣言下であっても十分安全な大会を開催できると助言を受けている」として「宣言」下での五輪開催の姿勢を示しました。共産党の小池晃書記局長は「五輪さえできるなら、日本国民にどんな被害が出ても構わないと言わんばかり」と抗議を表明。「今こそ『命ファースト』で五輪中止、コロナ対策に集中を」と述べました。

### 無観客でも感染拡大必至

無観客でも海外から多くの選手、関係者が入国してきます。IOC、国際パラリンピック委員会、国際競技団体から3万2千人、放送・メディア関係2万9千人、これに選手を加えれば優に9万人を超えます。これだけの人数の行動管理をどうするか、容易ではありません。

「五輪を『変異株の祭典』にしてしまい、感染を加速させる」（仏紙ルモンド）との指摘が現実のものになりかねません。

日本共産党